

2009年3月期 決算説明会 資料

CORE TOTAL
SOLUTION

SOFTWARE

SYSTEMWARE

EMBEDDED
SOLUTION BRAND

CORE'S WAY

AGENDA



I 2009年3月期 決算概要 P 2

II 経営計画 重点推進事項 P 10

この資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



2009年3月期 決算概要

(単位:百万円)

<主な増減要因>

	2008年 3月期	2009年 3月期	前年 同期比
売上高	26,205	25,038	95.5%
営業利益	1,178	1,103	93.6%
経常利益	1,169	1,069	91.4%
当期純利益	211	517	244.2%
総資産額	14,281	15,923	111.5%
純資産	6,841	7,065	103.3%
EPS(円)	14.90	36.39	244.2%
BPS(円)	479.15	494.51	103.2%

■売上高

- ・(-)下期以降、エンベデッド、ビジネスの受注ソフトの売上減少
- ・(-)プロダクト分野は主力製品は増収するも開発支援ツールが減少

■当期純利益増加

- ・(-)有価証券評価損84百万
- ・(+)前年度の「のれん」一括償却実施377百万

■固定資産増加

- ・(+)首都圏の事業所集約のため新たに建物、土地を取得(25億)

セグメント別の損益概況（1/2）

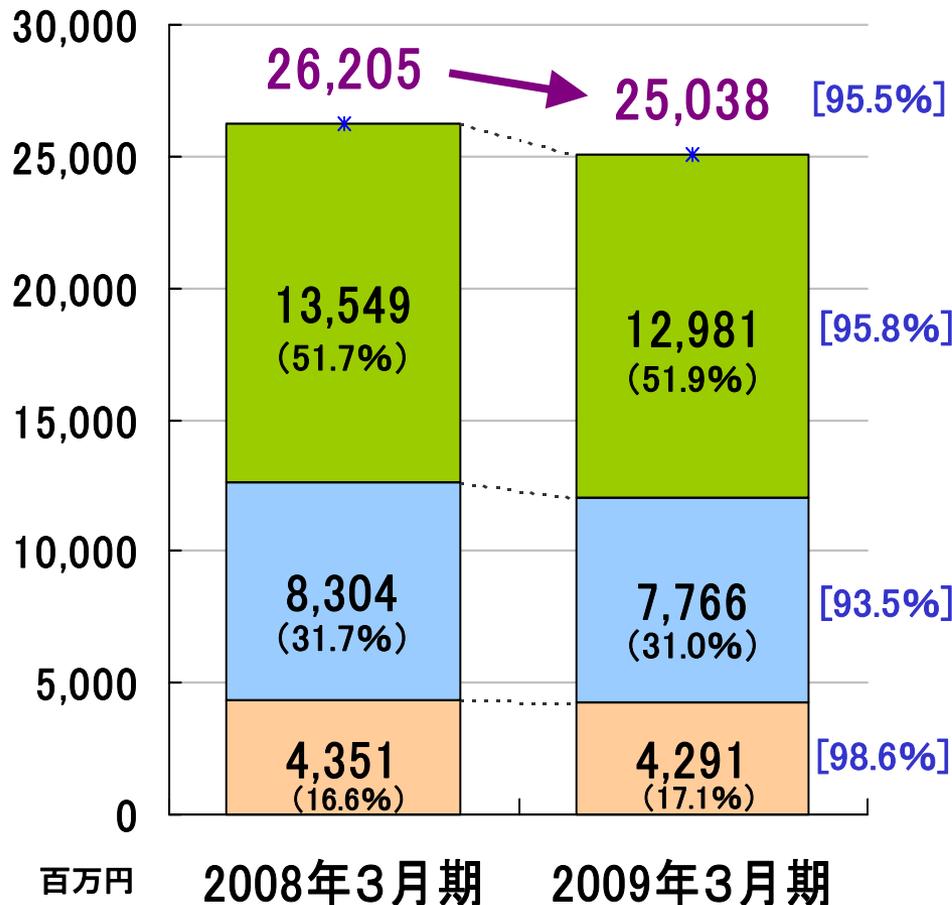
（単位：百万円）

	2008年3月期		2009年3月期		前年同期比
		構成比		構成比	
売上高	26,205	100.0%	25,038	100.0%	95.5%
エンベデッドソリューション事業	13,549	51.7%	12,981	51.9%	95.8%
ビジネスソリューション事業	8,304	31.7%	7,766	31.0%	93.5%
プロダクトソリューション事業	4,351	16.6%	4,291	17.1%	98.6%
営業利益	1,178	100.0%	1,103	100.0%	93.6%
エンベデッドソリューション事業	803	68.2%	804	72.9%	100.2%
ビジネスソリューション事業	306	26.0%	84	7.7%	27.7%
プロダクトソリューション事業	68	5.8%	213	19.4%	313.3%

セグメント別の損益概況（2/2）

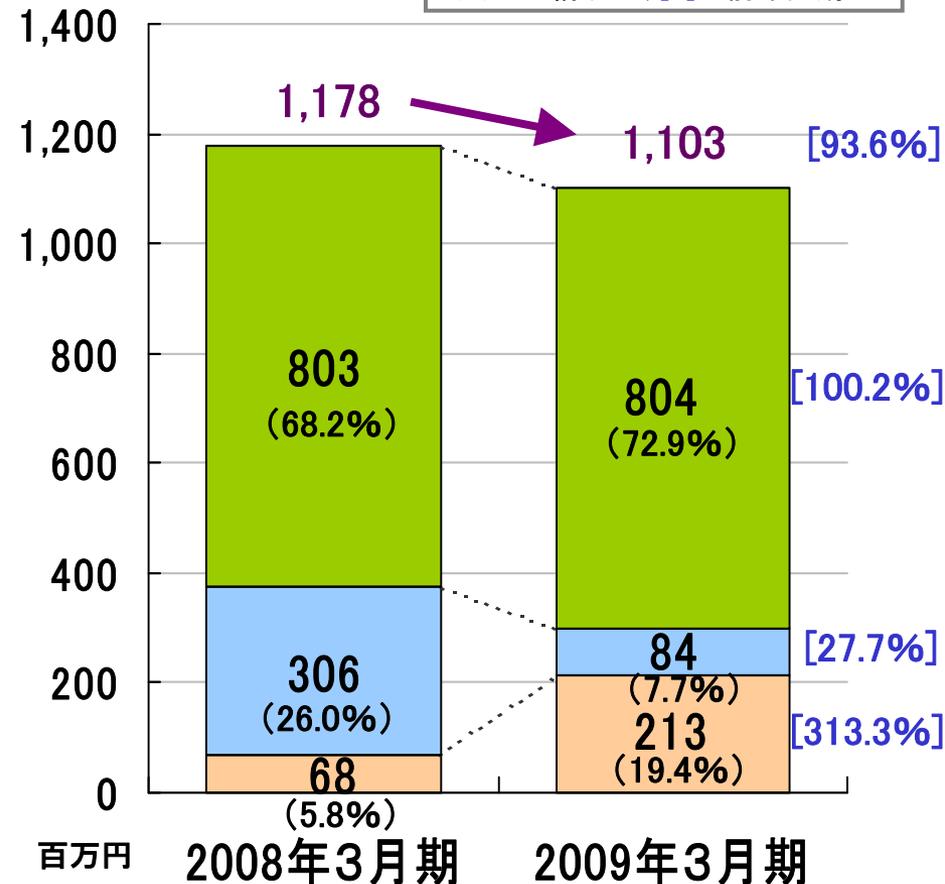
<連結売上高>

■ :エンベデッドソリューション事業 ■ :ビジネスソリューション事業 ■ :プロダクトソリューション事業



<連結営業利益>

()内は構成比、[]は前年同期比



売上高の増減要因

エンベデッドソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2008年3月期		2009年3月期		前年 同期比
		構成比		構成比	
携帯電話 通信端末	3,510	25.9%	3,185	24.5%	90.7%
通信インフラ	1,319	9.7%	1,384	10.7%	105.0%
自動車制御 車載システム	1,460	10.8%	1,596	12.3%	109.3%
情報家電	2,468	18.2%	1,953	15.0%	79.2%
FA 装置制御	1,376	10.2%	1,510	11.6%	109.7%
その他	3,413	25.2%	3,351	25.8%	98.2%
Total	13,549	100.0%	12,981	100.0%	95.8%

<主な増減要因>

→ 上期前年度並みに推移するも下期以降売上減少

→ 上期は前期比18%増、下期は前年度並みに推移

→ DVD、ビデオ、オーディオ等のAV機器の製品開発投資抑制により減小

→ 上期、液晶製造設備等の生産ライン関連の開発増加が寄与し通期でも増収

売上高の増減要因

ビジネスソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2008年3月期		2009年3月期		前年 同期比
		構成比		構成比	
金融 ソリューション	3,756	45.2%	3,076	39.6%	81.9%
製造 ソリューション	1,274	15.4%	1,157	14.9%	90.8%
流通 ソリューション	889	10.7%	1,041	13.4%	117.1%
公共 ソリューション	1,510	18.2%	1,578	20.3%	104.5%
Web ソリューション	873	10.5%	912	11.8%	104.5%
Total	8,304	100.0%	7,766	100.0%	93.5%

<主な増減要因>

銀行系大型プロジェクト収束の影響

上期前年比17%増で好調に推移するも下期28%減少し失速

家電量販店、スポーツ製品等の流通業向けシステム開発受注が伸長

売上高の増減要因

プロダクトソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2008年3月期		2009年3月期		前年 同期比
		構成比		構成比	
IT資産管理・ PLMソリューション	974	22.4%	1,028	24.0%	105.5%
ITAM製品	652	15.0%	604	14.1%	92.6%
PLM製品	286	6.6%	331	7.7%	115.6%
行動分析製品 (Analyst'sNotebook)	35	0.8%	92	2.2%	263.4%
開発支援 ツール	991	22.8%	780	18.2%	78.7%
電子テロップ	1,307	30.0%	1,511	35.2%	115.6%
その他	1,078	24.0%	971	22.6%	90.1%
Total	4,351	100.0%	4,291	100.0%	98.6%

<主な増減要因>

PLM製品は大型案件獲得により15%増

行動分析製品は防犯分野への導入拡大により大幅増

半導体不況の影響で開発支援ツール販売が大幅に減少

公共放送向けの大型商談受注により売上増

プリンタ検査治具の販売が減少

配当政策

	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 予定	2010年3月期 計画
配当金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
配当性向(%)	33.7	41.1	134.2	55.0	51.7
EPS(円)	59.36	48.71	14.90	36.39	38.72

配当に関する方針

- 「株主配当」「将来投資」「内部留保」に3等配分
- 連結配当性向30%以上を継続



経営計画 重点推進事項

当社事業環境の認識（1/2）

（産業界）

世界同時的な景気低迷、国内生産・消費の急減速、雇用の悪化

大手金融グループの再編、国内メーカーの急速な事業構造の見直し

（市場）

組込みソフトウェア

市場牽引役の「製造」「通信」の大幅な投資減速

ビジネスソリューション

「金融」では大型案件の収束
「流通」「医療」などでIT投資増

ITサービス・プロダクト

製品の提供からアウトソーシングサービス志向へ

高い技術力、コストパフォーマンスに優れたソリューション提案を要求

顧客企業は内部コストの削減、ビジネスプロセスの効率化、投資収益性の向上を求め、より強い選別投資志向へ

（顧客）

当社事業環境の認識（2/2）

- ・2009年3月期第4四半期以降、ほぼ全業種で売上高が急減速
- ・背景にある企業の投資抑制傾向は、2010年3月期も当面継続すると想定
- ・顧客の品質ニーズ、コストダウン要請が一層高まる中、情報サービス業界の構造変革に猶予のない状況

この厳しい経済環境下こそ、新しい感覚、次代を担う力を発揮し、明日を創造していくチャンス

経営・事業のゼロベースの構造改革で、足下の収益向上に努める

研究開発、人材育成など中長期の成長源泉となる仕込みにも注力

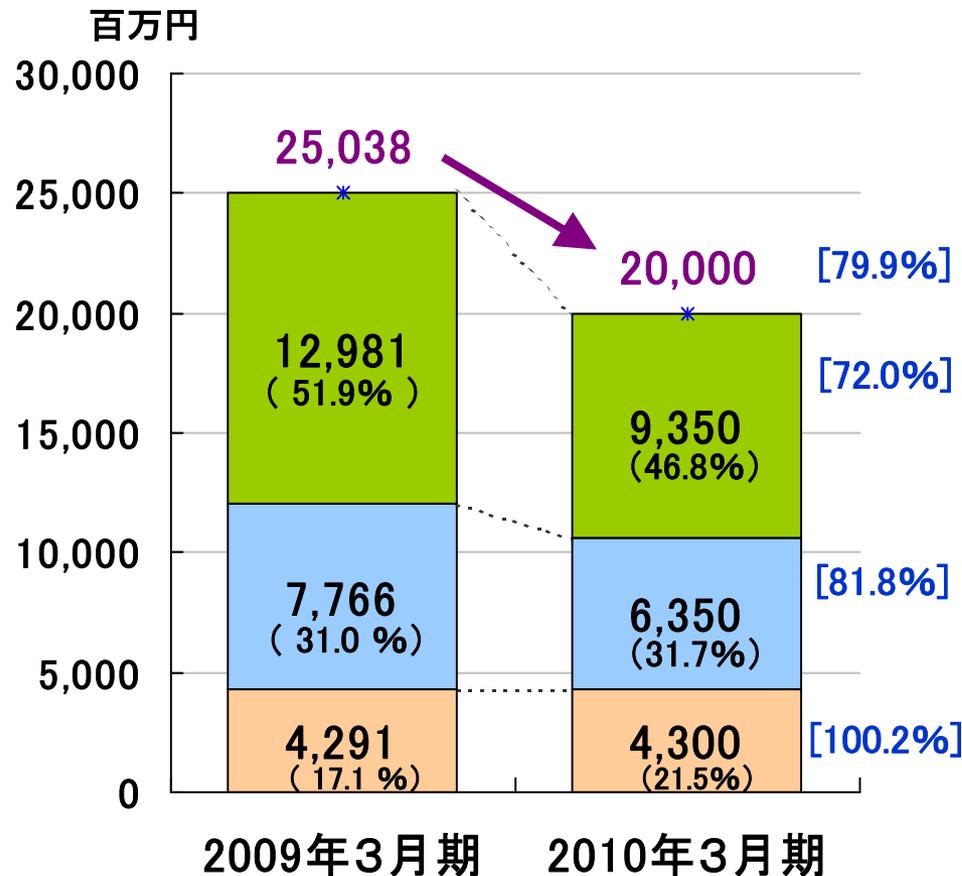
2010年3月期 経営計画 (1/2)

	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
売上高	25,038	100.0%	20,000	100.0%	79.9%
エンベデッドソリューション事業	12,981	51.9%	9,350	46.8%	72.0%
ビジネスソリューション事業	7,766	31.0%	6,350	31.7%	81.8%
プロダクトソリューション事業	4,291	17.1%	4,300	21.5%	100.2%
営業利益	1,103	100.0%	1,000	100.0%	90.7%
エンベデッドソリューション事業	804	72.9%	530	53.0%	65.9%
ビジネスソリューション事業	84	7.7%	240	24.0%	282.7%
プロダクトソリューション事業	213	19.4%	230	23.0%	107.6%
経常利益	1,069	---	1,000	---	93.5%
当期純利益	517	---	550	---	106.4%
EPS(円)	36.39	---	38.72	---	106.4%

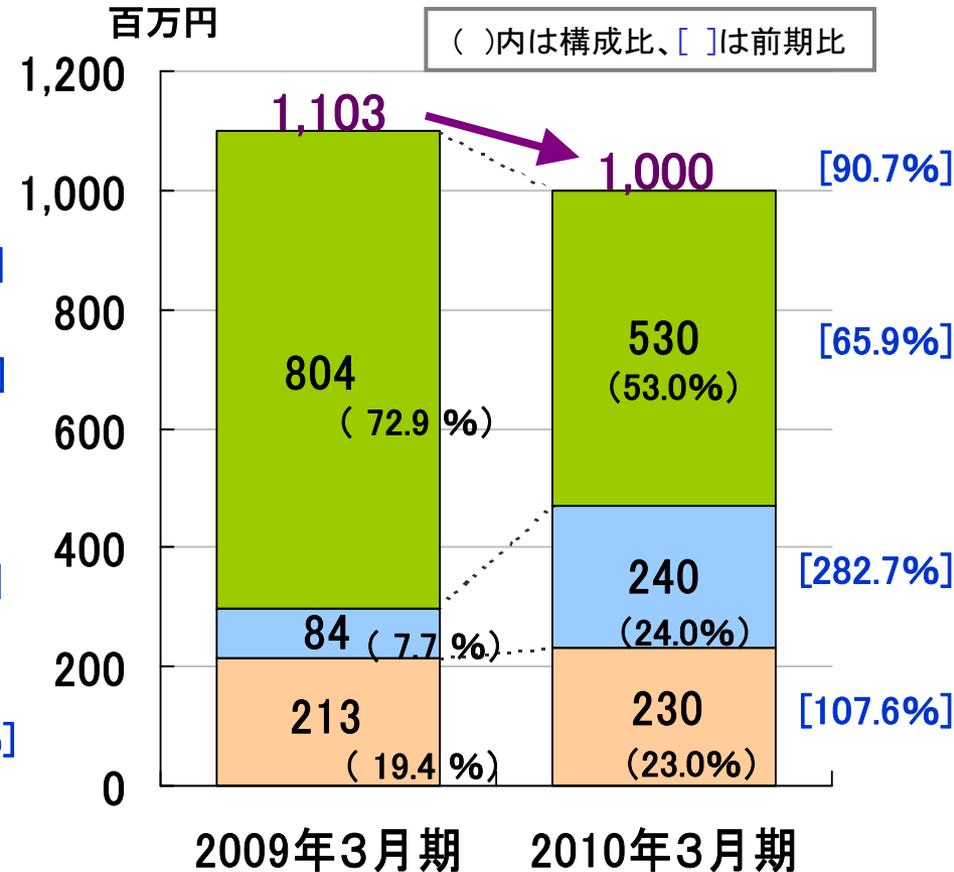
2010年3月期 経営計画 (2/2)

<連結売上高>

■ :エンベデッドソリューション事業 ■ :ビジネスソリューション事業 ■ :プロダクトソリューション事業



<連結営業利益>



2010年3月期 経営計画 (事業ポートフォリオ別 1/3)

エンベデッドソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
携帯電話 通信端末	3,185	24.5%	2,670	28.6%	83.8%
通信インフラ	1,384	10.7%	1,130	12.1%	81.6%
自動車制御 車載システム	1,596	12.3%	1,020	10.9%	63.9%
情報家電	1,953	15.0%	1,300	13.9%	66.5%
FA 装置制御	1,510	11.6%	1,200	12.8%	72.8%
その他	3,351	25.8%	2,030	21.7%	63.6%
Total	12,981	100.0%	9,350	100.0%	72.0%

2010年3月期 経営計画 (事業ポートフォリオ別 2/3)

ビジネスソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
金融 ソリューション	3,076	39.6%	2,620	41.3%	85.2%
製造 ソリューション	1,157	14.9%	810	12.8%	70.0%
流通 ソリューション	1,041	13.4%	940	14.8%	90.2%
公共 ソリューション	1,578	20.3%	1,010	15.9%	64.0%
Web ソリューション	912	11.8%	970	15.3%	106.3%
Total	7,766	100.0%	6,350	100.0%	81.8%

2010年3月期 経営計画 (事業ポートフォリオ別 3/3)

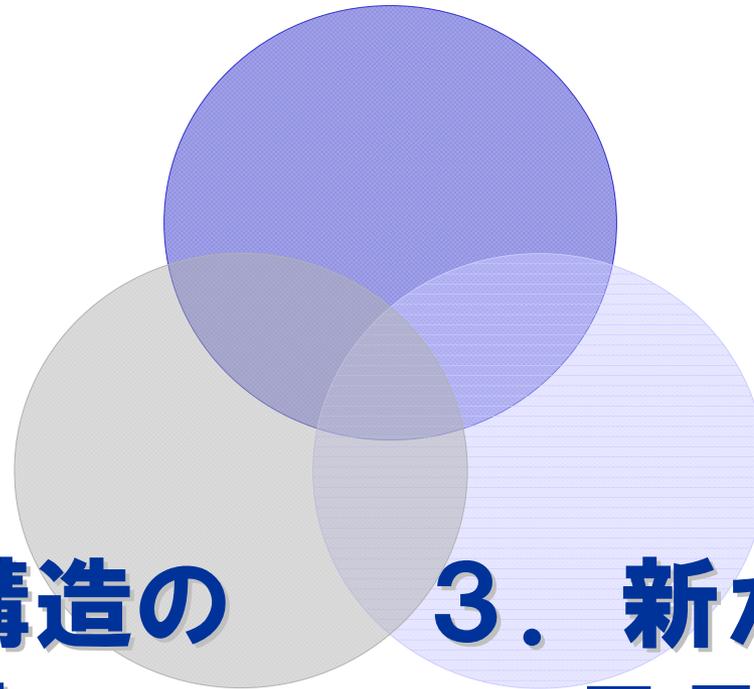
プロダクトソリューション事業

(単位:百万円)

事業 ポートフォリオ	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
IT資産管理 PLMソリューション	1,028	24.0%	1,410	32.8%	137.2%
ITAM製品	604	14.1%	930	21.6%	153.8%
PLM製品	331	7.7%	230	5.3%	69.5%
行動分析製品 (Analyst's Notebook)	92	2.2%	250	5.8%	270.8%
開発支援 ツール	780	18.2%	700	16.3%	89.7%
電子テロップ	1,511	35.2%	1,480	34.4%	97.9%
その他	971	22.6%	710	16.5%	73.1%
Total	4,291	100.0%	4,300	100.0%	100.2%

当期の経営方針

1. 経営体制の新生



2. 事業構造の
改革

3. 新たなビジネス
モデルの追求

当期の経営方針

1. 経営体制の新生

経営体制の新生（1/3）

新社長について

氏名

やなだ みのる
築田 稔 *Minoru Yanada*

略歴

昭和52年4月	株式会社システムコア （現社）入社
平成3年4月	SIサービス統括本部 マイコンシステム部部長
平成9年4月	人事本部長
平成15年4月	中四国カンパニー社長
平成20年6月	取締役常務執行役員 エンベデッドソリューション カンパニー社長
平成21年4月	現職



経営体制の新生（2/3）

新任役員について

<取締役候補者>

氏名	おおひら 大平	しげる 茂
(常務執行役員)	最高財務責任者 最高情報責任者 資材本部・管理本部管掌 人事部長兼人材開発部長	

氏名	おおうち 大内	こうじ 幸史
(常務執行役員)	戦略ビジネス推進本部長 プロダクトソリューション カンパニー社長	

<監査役候補者>

氏名	とくみつ 徳満	よしひさ 良久
(取締役常務執行役員)	西日本統括担当)	

氏名	なごや 名古屋	のぶお 信夫
(なごや公認会計士事務所所長 日本公認会計士協会業務本部主任研究員 慶應義塾大学商学研究科特別招聘教授)		

経営体制の新生（3/3）

主要な経営組織再編について

新設

戦略ビジネス推進本部

戦略顧客への
コンサルティング業務の強化

再編

営業統括本部

新事業・新市場への
全国・海外営業機能を強化

再編

人事本部

人事・人材開発機能の
統合・強化

再編

資材本部

パートナー戦略強化、
グループ調達機能の強化

新設

リスク管理部

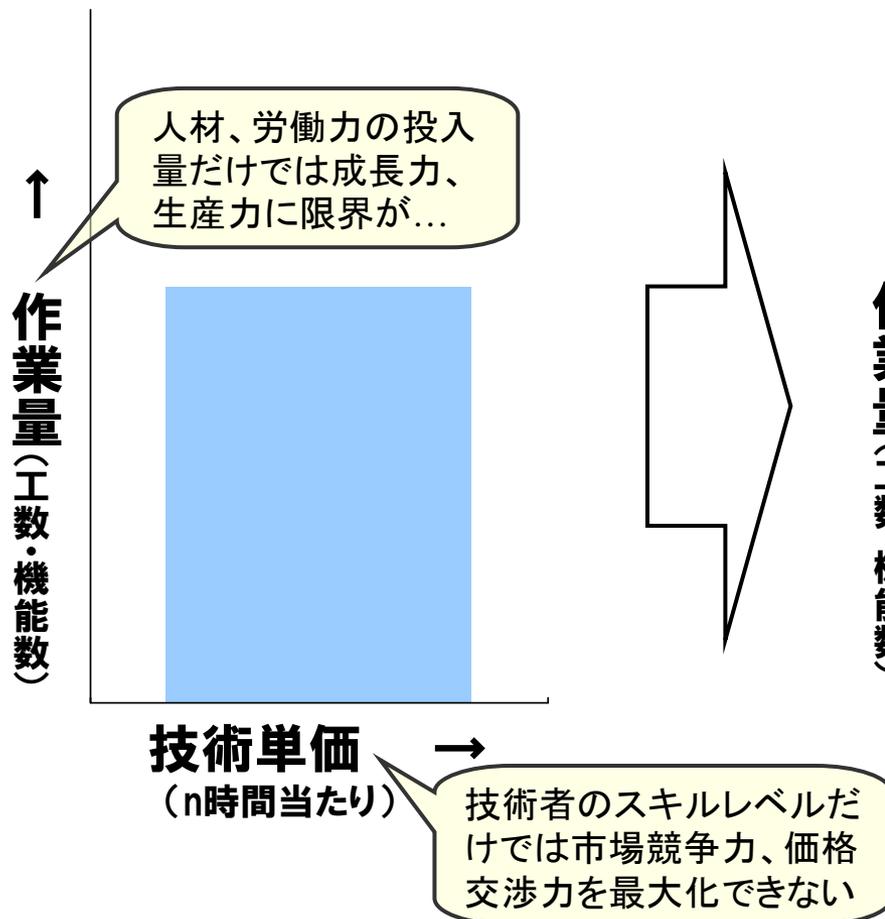
リスクマネジメント強化
(ISO9001/14001/27001統括)

当期の経営方針

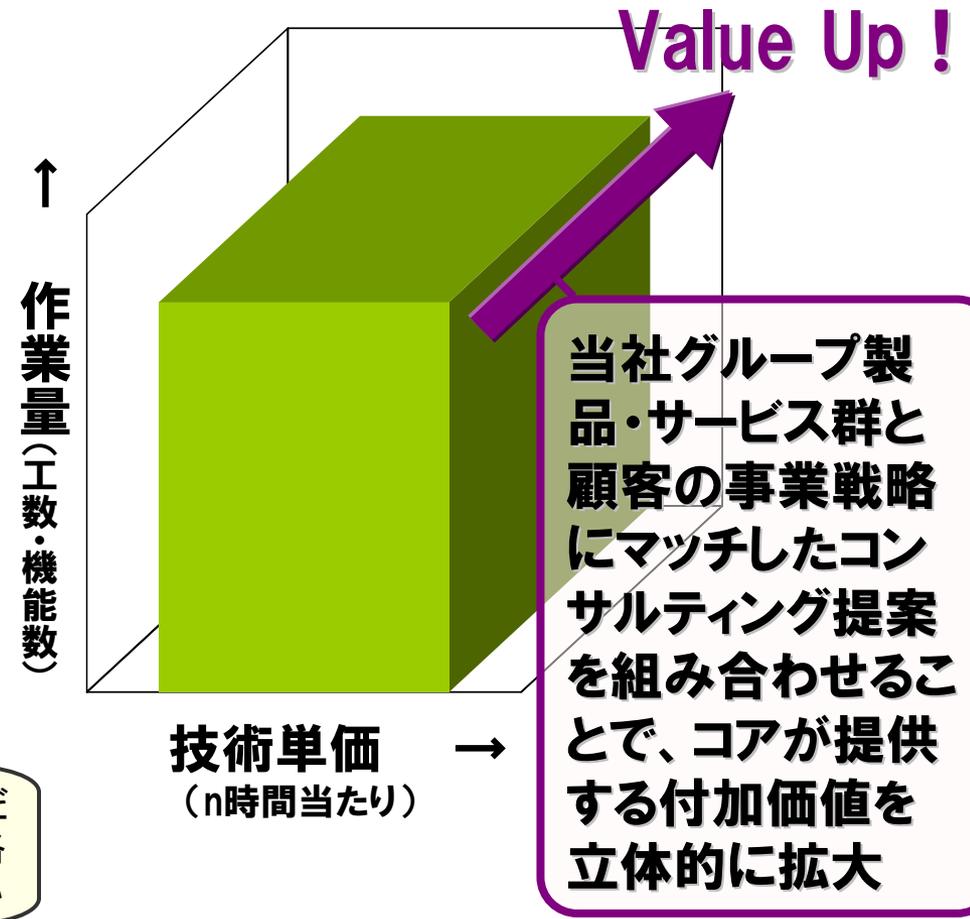
2. 事業構造の改革

事業構造の改革 (1/3)

既存の収益モデル



収益モデルの改革方向性



事業構造の改革（2/3）

収益モデル改革に向けた実行プラン

コスト構造

- ・ ゼロベースでの見直し
- ・ 固定費の圧縮
- ・ 調達コストの低減

開発構造

- ・ 内製化の推進
- ・ 空き工数の撲滅
- ・ 不採算発生の未然防止

事業構造の改革（3/3）

収益モデル改革に向けた実行プラン

管理構造

- ・ 間接業務のグループ
シェアード化
- ・ コアビル、コア第二ビル
への本社機能・事業集約
- ・ 開発子会社2社の事業吸収
(株)アコード・システム、(株)アクティブ・ブレインズ・トラスト)

人材開発

- ・ 営業力、提案力の向上
- ・ 次世代マネジャーの育成

当期の経営方針

3. 新たなビジネス モデルの追求

新たなビジネスモデルの追求

コア製品展開

ITAM/PLM、情報分析製品、電子テロップ

コンサルティング

戦略ビジネス推進本部

エンベデッド技術のシームレス展開

営業統括本部

堅調な業務・上流へのシフト
IPビジネス(ロイヤリティ)の拡大

コア製品の競争力・ラインナップ強化
ものづくりソリューション事業の拡大

研究開発費：523百万

電子テロップ製品・周辺機器開発	: 278百万
ITAM/PLM 製品機能アップ	: 137百万
高感度GPS応用製品	: 50百万
ExpressCard組込み型STP製品開発	: 58百万

エンベデッドソリューション
受注ソフト開発

ビジネスソリューション
受注ソフト開発

プロダクトソリューション
製品・サービス提供

コア製品展開 (1/2)

競争力強化に向けた開発投資を継続→新製品投入で市場拡大へ

製品名称	リリース	特 徴
電子テロップ		
GRID-MF32HDX/PCIe	2009/03	PC内蔵型デジタルハイビジョン対応電子テロップ
IT資産管理ソリューション		
ITAM 4.9	2009/05	利便性の向上、法制度改正への対応
ITAM 新バージョン	2009/10	英語、中国語対応による海外展開
情報分析ソリューション		
Analyst 's Notebook	2009/07	情報ビジュアル機能強化、地図情報連携
i BASE	2009/12	情報分析用統合データベース
PLMソリューション		
e-OpenPDM	2009/04	導入コストを低減するテンプレート機能提供
環境分析自動化システム		
全自動BOD測定装置	2009/07	BOD水質分析の全自動化を実現

コア製品展開 (2/2)

<コア製品販売計画>

	2009年3月期		2010年3月期		前期比
	実績	構成比	計画	構成比	
電子テロップ	1,511	59.5%	1,480	51.2%	97.9%
ITAM製品	604	23.8%	930	32.2%	153.8%
情報分析製品 (Analyst's Notebook)	92	3.6%	250	8.7%	270.8%
PLM製品	331	13.0%	230	8.0%	69.5%
環境分析製品 (水質分析機器)	8	0.3%	150	5.2%	1854.4%
Total	2,539	100.0%	2,890	100.0%	113.8%

コンサルティング

高度ICTに対応したコンサルティングサービス提供

コアの
コンサルティング
フォーカス

コンサル、企画、設計、導入、サポートまで
トータルサービスを提供



+ <コア製品群>



e-OpenPDM



<2009年度目標>

官公庁、自治体にフォーカス	
総務省	共同利用システム基盤
他省庁	警察庁、税関庁、防衛省
自治体	神奈川県、都庁、宮城県
売上	2.0億円
(官公庁)	1.5億円)
(自治体)	0.5億円)

エンベデッド蓄積技術のシームレス展開

エンベデッドソリューション強化プラン

ものづくり事業を支えるエンベデッド技術の見直し

エンベデッド、ビジネス、プロダクトの事業体の連携強化

点から線、線から面へのサービス強化

<コア技術>

- 高感度GPSソリューション
- STP応用製品（Stream Transposeエンジン）
- T-Engineソリューション
- 組込みLinux・Android／Windows Embedded
- 組込みData Base／組込みData Base同期ライブラリ

